

藝 游

Vol.25



茨城県立医療大学 同窓会

藝游會 会報第 25 号



編集：藝游會 役員・幹事一同

執行部からのお知らせ

令和 7 年度の執行部体制について

令和 7（2025）年度の執行部役員体制は以下の通りです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 会長 橘 香織（理学療法学科 1 期生）
- 副会長 松田智行（理学療法学科 2 期生）
- 唯根 弘（作業療法学科 14 期生）
- 野坂広樹（放射線技術科学科 16 期生）

- 事務局（各学科卒業生教員で組織）
- 山波真理（看護学科 5 期生）
 - 大江佳織（看護学科 7 期生）
 - 笠井久美（看護学科 7 期生）
 - 阿部尚美（看護学科 7 期生）
 - 土居岸悠奈（看護学科 8 期生）
 - 斉藤瑛梨（看護学科 9 期生）
 - 林 諒子 （看護学科 13 期生）
 - 篠崎真枝（理学療法学科 1 期生）
 - 藤田好彦（作業療法学科 2 期生）
 - 布施 拓（放射線技術科学科 7 期生）

- 27 期卒業生 執行部
- セミナー担当 山中 梨瑚 高野 紗緒里 （看護学科）
 - 会議担当 高木 葵 脇澤 光莉 （理学療法学科）
 - 広報担当 佐藤 ちひろ 佐藤 美咲 （作業療法学科）
 - 会報作成 一石 歩菜 村田 桃子（放射線技術科学科）

- 27 期卒業生 クラス幹事
- 看護学科 クラス幹事 五月女 樹美 五月女 凜華
 - 理学療法学科 クラス幹事 和田 晟 鈴木 俊哉
 - 作業療法学科 クラス幹事 北山 勇太 小山 慶洸
 - 放射線技術科学科 クラス幹事 薄井 勝吾 高野 晴光

令和 6 年度の出来事あれこれ

- 令和 3 年度から、新しい在学生事業として「学科支援金制度」を立ち上げました。これは、前年度の卒業生の学科ごとの入会者数に応じて、各学科に「2000 円×入会者数」の金額を上限として、学生の教育活動に必要な支援を目的とした支援金を交付するものです。

令和 6 年度の支援金は、全学科「国家試験対策業者模試費用の支援」として交付いたしました。

このように、国家試験対策費用や、臨床実習の交通費、何かの資格試験の受験料などの費用の支援、といった各学科の状況に合わせた活用方法を申請していただいています。

皆様の入会が後に続く後輩の皆さんの学生生活を後押しする力となります。こうしたつながりを今後も続けていきたいと思います。

同窓会 会報「藝游」の公開

本誌会報「藝游」Vol23 より、大学ホームページにてパスワードなしで公開することになりました。

※クラスのページも公開することを前提に作成していただいております。

茨城県立医療大学のホームページの「卒業生の方へ」より、会報のページにアクセスください。

同窓会報 <https://www.ipu.ac.jp/for-alumni/alumni-association-newsletter/>

【過去の会報の閲覧をご希望の方はご連絡ください】

これまでの同窓会報「藝游 vol19～22」は大学 HP へ PDF にてアップされておりますが、開封にはパスワードが必要となっています。

2023 年までは郵送されております IPUHS 通信(注)に同封する形で PDF ファイルを開くパスワードをお届けしております。もし過去の会報の閲覧をご希望の方でパスワードが分からない方は、是非、ご連絡ください。

連絡先 橘 香織 geiyukaigrad@ipu.ac.jp

令和 7 年度定期総会のお知らせ

令和 7 年度総会では、令和 6 年度の事業報告および会計報告とともに、令和 7 年度事業計画の検討、役員引継ぎが主な議題となります。是非多くの皆様にご参加を賜りますようお願い申し上げます。

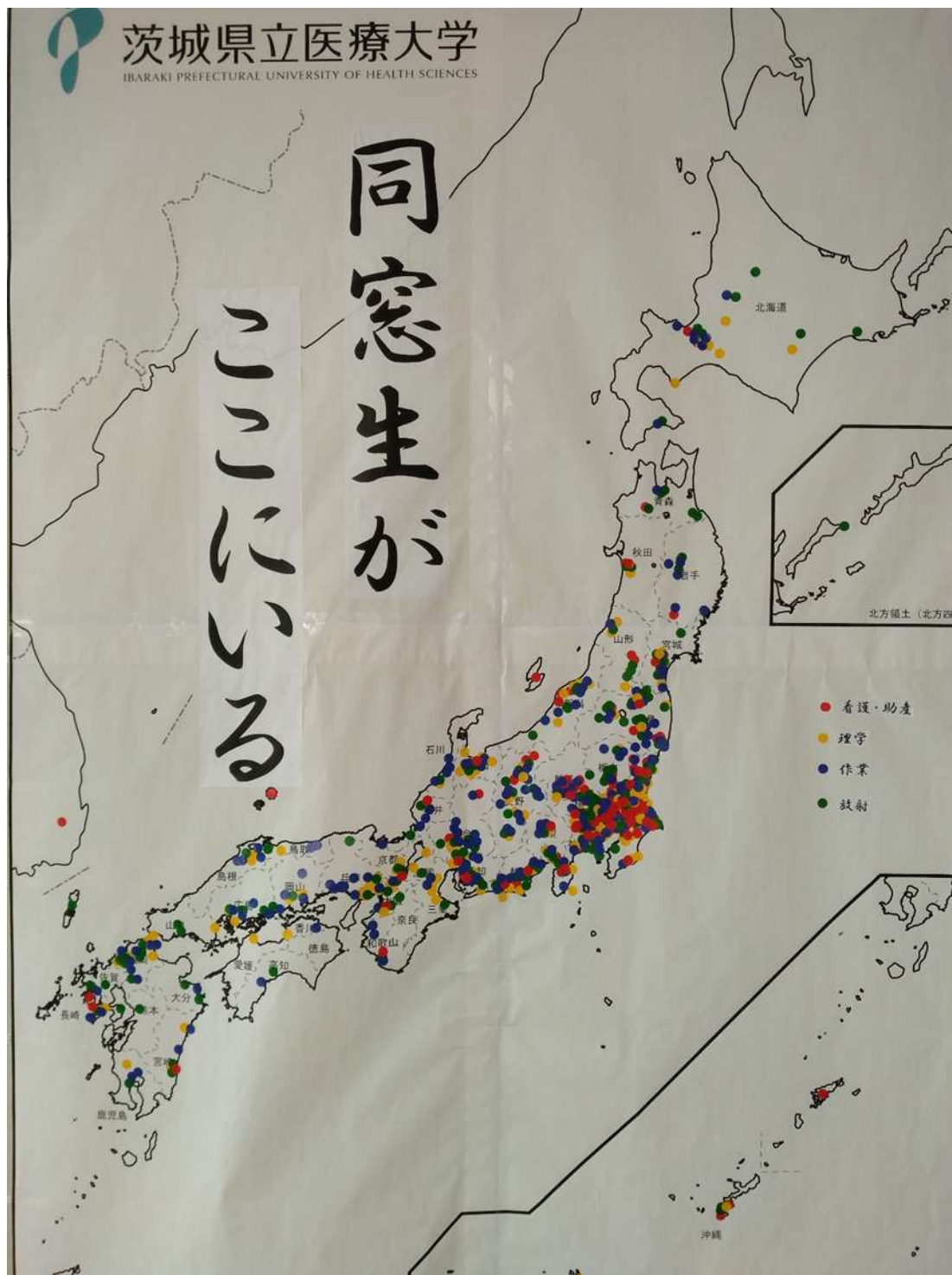
期日：令和 7 年 7 月 6 日（日） 10 時～12 時

会場：オンラインにて開催

※総会にあたり、欠席される方の議決権は出席者に委任するものとして扱わせていただきます。

同窓会開催のお知らせ

令和6年10月26日（土）に大同窓会を開催いたしました。1. ご参加いただいた先生のご紹介、2. 写真で振り返る医療大の30年、3. 卒業生マップの紹介、4. 各学科交流会など、オンラインとのハイブリット開催となり、多くの同窓生や恩師の先生方にご参加いただきました。



卒業生への記念品

3月14日の茨城県立医療大学卒業式および学位授与式において、学部卒業生および助産学専攻科・大学院博士課程の修了生に対して、同窓会藝游會より卒業記念品としてボールペンを贈呈いたしました。

卒業生および修了生の皆様の今後のご活躍を応援しております。



事業報告

令和6年度事業報告

- 4月3日 入学式 新会員入会
- 4～7月 新会員登録業務
- 6月9日 令和6年度総会開催
- 9月 在学生支援事業として国家試験関連参考書の図書館寄贈依頼
- 10～1月 学科支援金の申請・交付
- 10月26日 大同窓会の開催
- 12月7日 第10回卒業生交流セミナー開催（理学療法学科担当）
- 12月19日 新会員への説明会開催・新役員決定
その後会員募集および会費の収集
- 3月14日 卒業式 卒業記念品の贈呈
- 3月末 会報を大学ホームページ上で公開

令和7年度事業案（令和7年6月の総会に提出予定）

- 4月3日 入学式 新会員入会
- 4～7月 新会員登録業務
- 7月3日 令和6年度総会開催
- 日程未定 卒業生交流セミナー開催（看護学科担当）
- 12月上旬 新会員への説明会開催・新役員決定 会費の収集
- 2月 会報作成
- 3月 会報を大学ホームページ上で公開

茨城県立医療大学同窓会 藝游會 第9回 卒業生交流セミナー 開催報告

R5 年度 最終講義

3月13日 看護学科 加納 尚美 教授

「声をきき、声をつくり、声をとどける」



令和5年度の卒業生交流セミナーは、放射線技術科学科が担当し、令和5年度で退職される看護学科の加納 尚美教授の最終講義を ZOOM 配信いたしました。

- 最終講義のテーマ「声をきき、声をつくり、声をとどける」
- 日時：2024年3月13日（水）16：30～18：00
- 場所：茨城県立医療大学 大講義室（111 講義室）& ZOOM 配信

お世話になった先生方の最終講義を遠方でも受講できるということで、多くの卒業生にご参加いただきました。藝游會より、感謝と先生方のご健康を祈念し、記念品を贈呈いたしました。

加納尚美先生、長い間ご指導いただき本当にありがとうございました。

（報告：野坂 広樹【藝游會副会長・放射線技術科学科16期卒業生】）

茨城県立医療大学同窓会 藝游會 第10回 卒業生交流セミナー 開催報告

開催日時；令和6年12月7日（土） 14時～受付，14：30～16：00

開催場所；茨城県立医療大学 講義棟4階 133 講義室

参加者；卒業生19名，そのほか7名 ― 計26名

講師；理学療法学科 水上 昌文 教授

テーマ；再生医療時代の脊髄損傷の理学療法

令和6年度の卒業生交流セミナーは，理学療法学科が担当し，水上昌文教授に「再生医療時代の脊髄損傷の理学療法」というテーマでご講演いただきました．参加者は延べ26名となりました．

水上先生のご講演では，脊髄における再生医療は実用段階に入っており，その中でもセラミック注が第一選択肢として期待されていること，HGF（肝細胞増殖因子）の実用化により，完全麻痺が限りなく減少する可能性があること，さらに再生医療が普及していく中でも，リハビリテーションは変わらず必要とされ続け，むしろより重要な役割を果たしていくであろうことをご教授いただきました．

iPS細胞に代表される再生医療分野に関して，曖昧であった自分の知識を最新のものへアップデートすることができました．また，リハビリテーションに関係の深い脊髄損傷にクローズアップして話を進めていただくことで，臨床・研究ともに今後の自らの研鑽へと繋げやすい実用的な内容で，非常に勉強になりました．再生医療が実用段階に入っていることで，私たちが治療・介入を行っていく対象の患者様の中にも，再生医療を受けている方が増えていくことが予想され，私たちも常にアンテナを張って最新のエビデンスに基づいた情報を患者様に提供していく必要があることを実感することができました．

講演終了後に藝游會より，感謝と先生の今後のご健康を祈念し，記念品を贈呈いたしました．水上先生，ありがとうございました．

（報告：笹原 実直【藝游會執行部 セミナー担当・理学療法学科26期卒業生】）



日 時： 2024 年 6 月 9 日（土曜日） 10 時 00 分～

場 所： Zoom

出席者： 橘香織（会長）、松田智行（副会長）、唯根弘（副会長）、野坂広樹（副会長）、
大江佳織、篠崎真枝、藤田好彦、布施拓、山波真理、笹原実直（26 期）、
渡邊みなみ（26 期）、芳賀さくら（26 期）、矢ノ倉航希（26 期）
10 名 （敬称等略、順不同）

議長選出： 互選により会長の橘が選出された。

議事録作成者の選出： 野坂広樹氏が選出された。

議 題：

1. 令和 5 年度事業報告

1) 名簿作成事業（松田副会長より）

- ・一昨年度分について全学科より受け取った。
- ・昨年度については収集中

3) 在学生支援事業（唯根副会長）・・・【資料①】

- ・図書館への国家試験対策本寄贈事業 4 学科合計冊数 28 冊（計 128,700 円）
- ・2023 年利用実績 4 学科合計貸し出し件数 129 件（前年度比 150 件ほど減）

4) 卒業生支援事業

(1) 同窓会ホームページの運用について（野坂副会長）

- ・アプリならびに藝游會専用ホームページを運用してきたが昨年後はほとんど使用されなかった。

5) 卒業生交流セミナー事業（放射線技術科学科）最終講義の実施 Zoom 配信実施

看護学科 加納尚美 教授 3/13(水)

6) 会報作成事業（看護学科）

- ・例年通りクラスページ等を作成し 3 月中にホームページに公開した。
- ・一昨年度よりパスワードを付けずに公開中である。

2. 令和 5 年度決算報告（作業療法学科）

・令和 5 年度の決済報告 収入 4,388,695 円（令和 4 年度繰越金、25 期生入会金 123 名分）

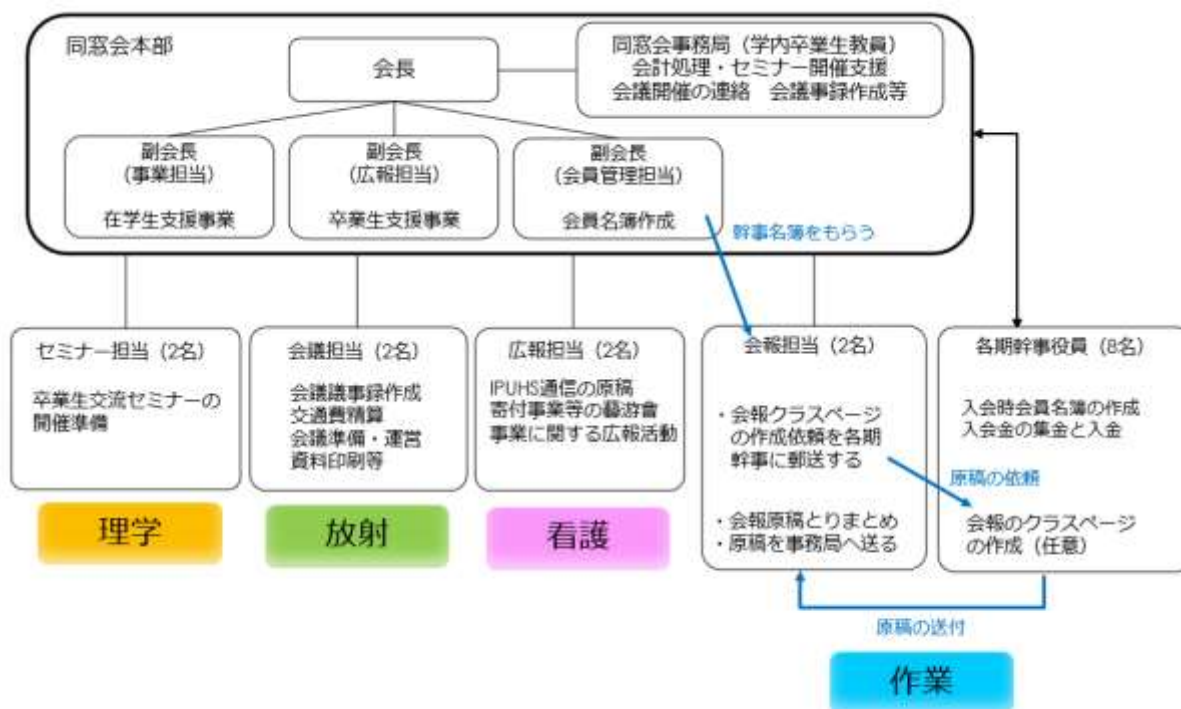
支出 469,959 円（学科支援金、会報作成・郵送費、図書寄贈費、
同窓会ホームページ契約費、同窓会ホームページ
メンテナンス費、卒業生記念品、卒業生メッセージ
カード費、退任教員プレゼント代（1 名）、振
込手数料）

以上、全会一致で承認された。

3. 令和6年度事業案の審議

1) 令和6年度の担当役割の確認（橘会長）

卒業生交流セミナー	理学療法学科
広報	看護学科
会報	作業療法学科
会議・会計	放射線技術科学科



2) 在学生支援事業

①図書館への国家試験対策本寄贈事業（橘会長・唯根副会長）

- ・近年学修行動が変化し利用件数が減っているため国家試験対策アプリの方が良いのか、図書寄贈のままでよいか検討する時期になってきている。
- ・卒業生意見も参考に同額の予算で様々な図書を選定することとし、今年度は図書寄贈の方針とする。

②学科支援金事業（橘会長）

- ・学科支援金の配布額について、卒業生と在学生の人数が一致しない場合があるため、入会者数ではなく、入会率を基準に予算の編成を行う方針とする。今年度の入会者×2000円で予算を編成する方針とする。
- ・上記を踏まえて学科支援金の運用規則について野坂副会長が作成することとする。

③つなげよう！IPUHS プロジェクト事業（橘会長）

- ・コロナ支援関連ではじめた寄付金事業であるが、使用目的はコロナ支援に限らない。
 - ・来年度の30周年記念事業の際、原資になる可能性がある。
- （本会計は藝游會とは別会計である）

3) 卒業生支援事業（橘会長）

①卒業生つながろうプロジェクト

- ・来年度の大学開学 30 周年記念事業とのコラボ企画として、現時点での卒業生の所属している施設を把握し、マップを作成する。

- ・大学とのコラボ企画であるが、郵送費や印刷費などは大学の予算がないので藝游會の予算から実施する。名簿管理事業の一環として実施することで藝游會の予算を使用することも問題ないということとなった。

②大学開学 30 周年記念事業の寄付金を募るサイト設立費用について

- ・大学開学 30 周年記念事業の寄付金を募るサイト設立のための初期費用（約 60 万円）として藝游會から支援することを検討中であるが、支援した際には寄付金の使用方法などについて藝游會からの意見も述べるができるようにする必要がある。

- ・具体的な支援の方法については橘会長に一任することとした。

③大同窓会

- ・2024 年度の創療祭と同時に大同窓会を開催する。卒業生つながろうプロジェクトのマップ報告や卒業生が交流しやすいような場（各学科用の歓談用教室の確保など）の提供を予定している。

- ・卒業生交流セミナー（理学療法学科）を創療祭と同時に 2024 年 11 月 19 日に開催予定であったが、創療祭の日程の変更が検討されており、卒業生交流セミナー講師（茨城県立医療大学 水上教授）の都合で日程の変更が難しいため、創療祭と同時に卒業生交流セミナーを実施するか、別で開催するかは未定である。

4) 名簿作成事業（松田副会長）

- ・卒業時に集約する情報について住所の記載を取りやめ、「氏名、学科、卒業期、卒業後の就職先」の情報などとし、今年度の卒業生より名簿の簡略化を図っていくこととする。

- ・郵送物を送付する場合など住所が必要な場合には大学で管理している情報と合わせて対応する。

- ・卒後も使用できる生涯付与メールアドレスの利用状況を把握し、活用方法含めて検討する。

5) 卒業生交流セミナー事業（今年度担当：放射線技術科学科）

- ・卒業生交流セミナー（理学療法学科）を創療祭と同時に 2024 年 11 月 19 日に開催予定であったが、創療祭の日程の変更が検討されており、卒業生交流セミナー講師（茨城県立医療大学 水上教授）の都合で日程の変更が難しいため、創療祭と同時に卒業生交流セミナーを実施するか、別で開催するかは未定である。

6) 会報作成事業（今年度担当：作業療法学科）

- ・具体的に引き継ぎ検討。

7) 広報事業（今年度担当：看護学科）

- ・IPUHS通信に掲載する内容を検討。

- ・HPへの掲載内容の検討と情報発信の拡大。

8) 会議・会計（今年度担当：放射線技術科学科）

- ・12月に次の幹事学生の招集会議の設定と運営を行う。

- 会計管理、通帳管理。

4. 令和6年度予算案の審議

令和6年度予算	収入	4,672,620 円（令和5年度繰越金、26期生入会金 見込み）
	支出	482,000 円（役員会開催費及び事務費、会報作成費、 卒業生交流セミナー開催費、学科支援金、図書寄贈費、 卒業生記念品、その他雑費）
	繰越金	3,851,292 円
		藝游會ホームページ関連費用⇒削除

以上、原案通り承認された。

5. その他の審議提案事項（橘会長）

- ・開学30周年事業として、「記念式典」「記念講演」「記念誌の発行」「卒業生つながろうプロジェクトのマップ」が計画されている。
- ・“持続可能”な仕組みをつくるために、在学生のうちに入学してもらった仕組みづくりやホームカミングデーの開催を通して計画していく。
- ・会報にパスワードをかけずにホームページに掲載する運用となったが、問題点もないので今後も継続していく。
- ・2025年の30周年記念式典をもって会長の交代を希望している。学内教員ではなく外部から建設的な同窓会運営を行える人選を行いたい。

6. 令和7年度総会の日程について（橘会長）

- ・日程：令和7年 6月 8日（日）10時 を予定している。

以上

令和6年度決算報告

令和6年度決算(令和5年4月1日～令和6年3月31日)	
収入の部	
令和5年度繰り越し	3,908,926
26期生入会金(123名分)	753,884
利子	612
合計	4,663,422

令和7年度予算案	
収入の部	
令和6年度繰り越し	4,275,497
27期生入会金	850,000
合計	5,125,497

支出の部	
学科支援金(看護)	106,000
学科支援金(理学)	42,000
学科支援金(作業)	58,500
学科支援金(放射)	84,000
会報作成・郵送費	8,470
卒業生記念品費	42,020
卒業生メッセージカード費	4,230
退任教員プレゼント代(3名)	11,880
卒業生交流セミナー講師代	30,000
両替手数料	825
合計	387,925

支出の部	
学科支援金(看護)	100,000
学科支援金(理学)	50,000
学科支援金(作業)	50,000
学科支援金(放射)	50,000
会報作成・郵送費	8,000
図書寄贈費	150,000
卒業生記念品費	45,000
卒業生メッセージカード費	6,000
退任教員プレゼント代	20,000
振込手数料	3,000
合計	482,000

繰越金 4,275,497

繰越金 4,643,497

【会計監査】

上記会計は終始偽りなく、証拠書類なども整っていた。

感謝状

祝退官

我らが愛する 森 浩一 殿

ご退官おめでとうございます。

大学在職中は、ご指導を頂き
本当にありがとうございました。

国試後にみんなで行った、
卒業旅行の草津で食べた
先生からの贈り物の舟盛りの味は、
たぶん一生忘れません(笑)

お体に気をつけて
充実した第二の人生を送られますよう
心よりお祈りしています。

令和7年 放射線技術科学科 第8期生 一同

——連絡先に変更があった場合の手続き——

以前、開学20周年記念事業の一環として、大規模な卒業生連絡先調査が行われました。

この調査により、卒業生の方の多くの方の連絡先を卒業生名簿という形で整理することができましたが、既にそれ以降で所属先やお届け先が変更になられている方もおられるかと思います。

今後も、卒業生名簿の情報を元に、藝游会会報や大学からの各種お知らせをお手元にお届けしていく予定です。

所属先やご住所等に変更がございましたら、以下のいずれかの方法にてご連絡ください。

1. 大学ホームページからご登録いただく方法

茨城県立医療大学ホームページ（<http://www.ipu.ac.jp/>）から「卒業生の方へ」というページをご覧くださいと、「お知らせ」のコーナーの中に「卒業生連絡先変更フォーム」というリンクがございます。こちらから、必要事項をご記入いただき、送信ボタンを押していただくだけで、卒業生名簿の情報を更新することができます。

2. 郵送によるご連絡方法

下記の移動通知表に必要事項をご記入の上、下記の宛先へご郵送いただいても、卒業生名簿の情報を更新できます。

同窓会名簿 異動通知表	
平成 年 月 日	
卒業年	平成 年（第 期卒業生）
学科	看護 理学 作業 放射線
ふりがな	旧姓
氏名	
帰省先 住所	〒
	TEL
現住所	〒
	TEL
勤務先	名称
	TEL
E-mail	

【郵送先】

〒300-0394
茨城県稲敷郡阿見
阿見 4669-2
茨城県立医療大学
同窓会「藝游會」執行部行

編集後記

同窓会会報「藝游」は、今回で第25号の発行となりました。同窓会執行部よりご案内した2024年10月26日開催の大同窓会をきっかけに、久しぶりに連絡を取り合った卒業生も多かったのでは、と執行部一同大変嬉しく思っております。この同窓会の場が同窓生の交流を深める一助となれば幸いです。また、今回もクラスのページを作成いただきました皆様、心より御礼申し上げます。

2024年度は、長年に渡り本学学生をご指導くださいました、放射線技術科学科 森 浩一 教授、医科学センター 馬場 健 教授、看護学科 吉良 淳子 教授の3名の先生方が定年退官を迎えられました。この場をお借りして感謝の気持ちをお伝えするとともに、先生の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

また、本学と台湾の高雄医学大学との国際交流は2015年に始まり、今年で10周年を迎えました。2025年3月21日（金）に高雄医学大学で、茨城県立医療大学・台湾高雄医学大学10周年記念学会が開催されました。

令和7年5月に茨城県立医療大学は開学30周年を迎えます。30周年記念事業のメインテーマ「地域とともに30年！さあ次のステージへ」には、これからの新たな30年間も茨城県をはじめ、地域社会で暮らす人々の健康と幸福を支える有能な人材を輩出し続ける、医療職を志す学生たちに寄り添いながら夢の実現を力強く支援し、ともに成長していく、という二つの決意が込められています。

今回の編集にあたり、情報をお寄せいただいた卒業生の皆様、それを取りまとめていただいた役員の皆様、そして発行に際しご協力をいただきました大学職員の皆様に、この場をお借りして深く御礼を申し上げます。

今後も同窓会の発展にご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。末筆ながら、皆様の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

茨城県立医療大学同窓会 「藝游會」

連絡先：〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2

茨城県立医療大学 「藝游會」執行部 宛